

受験生「力出し切れた」 公立高入試 後志管内13校に868人挑む

会員限定記事

2024年3月5日 21:41

あとで読む



試験を終えて帰宅する受験生＝5日、小樽潮陵高

道内公立高の一般入試が行われた5日、後志管内でも全日制、定時制合わせて全13校で868人が試験に挑んだ。後志教育局によると、管内で大きなトラブルはなかった。

全日制では国語、数学、社会、理科、英語の順に学力検査を行い、学力検査のない定時制は面接を実施した。新型コロナウイルスが昨年5月に感染症法上の5類に移行して初の実施となり、多くの受験生がマスクを外して臨んだ。

小樽潮陵高では試験終了後、受験生たちが次々と校舎から出て、友人らと手応えを話し合っていた。小樽市立潮見台中3年の桜井彩子さん（15）は「英語と理科は難しかったが、体調管理に努めてきたので力を出し切れた」、同中3年の吉田海（ひろい）さん（15）は「この1週間、1日5時間勉強した。早く家で休みたい」と話した。6日は8校が面接を行う。合格発表は18日。